

(様式4)

教育研究グループ「研究結果」報告書

報告日 令和4年4月27日

グループ名	東京都北区立王子第二小学校	フリガナ 代表者氏名	エグチ チホ 江口 千穂
学校名 (代表者)	東京都北区立王子第二小学校 (江口 千穂)	電話番号	03-3908-2460
研究テーマ	学習環境整備に向けた組織的取組 ～一人1台タブレット端末を用いて～		
研究期間	令和3年4月1日 から 令和4年3月31日		
研究結果 の概要 ※詳細は 別紙により 報告	<p>【校内研究会】 講師：デジタルハリウッド大学教授・学長補佐 佐藤昌宏先生) 講演「Edtech が変える教育の未来」 「学びの個別最適化と教員の役割を考える～Teach から Coach へ～」 Edtech（テクノロジーによる教育のイノベーション）による学びの変化について講演を聴き、主に、学びの個別最適化の必要性や有効性に気づきを得た。教員の役割がこれまで以上に教えることから寄り添うことへシフトしていただくことを知った。Edtech ツールに蓄積される学習ログの活用や、家庭学習と学校での授業をどのように橋渡しをしていくかを考えた。</p> <p>【ミニ研修会・事例報告会】</p> <ul style="list-style-type: none">・クロームブックの基本的な操作方法・Google ドキュメント等各種 Google サービスの使用方法、共有方法・ロイロノートの授業での活用方法・スクールタクトの授業での活用方法		
			



ICTと教育の未来についての講演を聞いたり、教員間でICTを活用した授業を紹介しあったりすることで、苦手意識を持っていた教員を含め、全体のICT活用に対する意欲が高まり、活用力が向上した。

【本校での活用事例】

スクールタクト

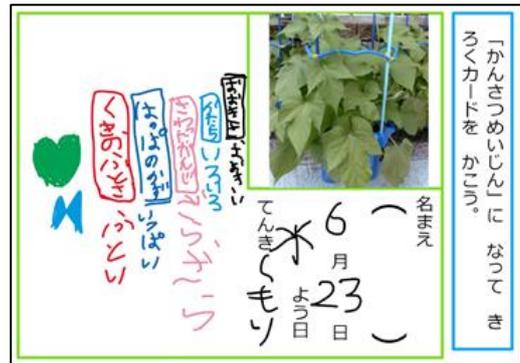
1年 生活科「きれいにさいてね」

(学習の内容)

- ① 教師が作成した観察カードの枠に合わせて、各児童が撮影した朝顔の写真を取り込む。
- ② 観察して気付いたことを記述する。

(メリット)

- ・スケッチが不要になる分、観察をしたり気付いたことを書いたりする時間が多く確保できる。
- ・写真なので見返した時にその時の様子が分かりやすい。
- ・友達のカードをすぐに見られるので、どんなふうに行けばよいか参考にできる。



ロイロノート

2年 社会科「火事から守る」

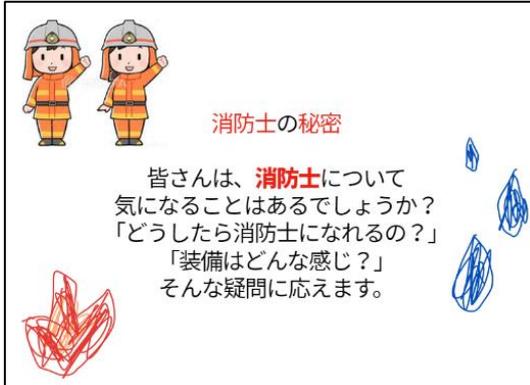
(学習の内容)

- ① 消防士の仕事について調べた内容を、ロイロノートに整理して、スライド形式でまとめる。
- ③ まとめたスライドを全体で共有する。友達のスライドの分かりやすいところや、まねしたいところを伝え合う。



(メリット)

- ロイロノートを使うことで、表現の幅が広がるとともに、手軽に様々な表現をすることができ、より意欲的な活動につながる。
- 児童一人一人が、自分に合った方法でスライドをまとめることができる。
- 画面共有を行うことで、容易に互いの作品を見合うことができる。



消防士の一日

消防士は午前8時30分から翌日の午前8時30分までの24時間勤務します。
食事は自分たち作っているそうです。



3年 図画工作科「ひそんでいるぞ カオ かお 顔」

(学習の内容)

- ①学校や地域の中にひそんでいる顔を探し、ロイロノートのカメラで撮影する。
「提出箱」に提出し、相互鑑賞する。
撮影した顔がどんな性格なのか想像して、名札を書く。

(メリット)

- 撮った写真が自分のノートに増えることが学習意欲につながった。
- チームで顔探しをしたことで、かかわりながら学習ができる。
- 一人一台の端末があるので、自分だけの顔を探すこともできる。
- 提出箱は全員の写真を同時に見られるので、作品の相互鑑賞にとっても効果的だった。



Google ドキュメント

6年 国語科「私たちにできること」

(学習の内容)

○資源や環境を大切にするために学校で自分たちができることを考え提案する文章をまとめるにあたり、Google Documentの共有機能を使って、同時にファイルを更新しながら文章を作成する学習方法を選択した。

(結果)

- ・1つのファイルに同時に文字の入力ができ、リアルタイムに話し合いと文章構成ができるので、グループ等の複数人でまとめをするにはとても実用性があった。
- ・面と向かわずそれぞれの端末を見ながら話し合いができるので、コロナ禍の教育活動には効果的だった。

教員がICTを積極的に活用することで、児童もどんどん活用の仕方を覚えていった。後半には、高学年の児童が自分たちの学習や様々な活動の中で、積極的に端末を用いる姿が見られた。例えば委員会活動など、今までは大きな画用紙に書いて説明したことを、端末上で作成し各教室で共有するなど児童が工夫して取り入れることができていた。

ミストシャワーを設置して熱中症対策に
6年1組3班

1.提案のきっかけ

体育のときや、登下校時、休み時間などとても暑い。実際に近所の練馬では、最高気温が37.3度の猛暑日が18回、真夏日が61回で、熱帯夜が27回と北区の近所でも、とても暑くなっている。さらに、大阪府の小学校で、マスクをしながら持久走をしていた小学5年生の男子児童が倒れ、死亡したことがあった。以上のことから、私達は校庭にミストシャワーを設置することを提案する。

2.提案

「熱中症対策のために
ミストシャワーを設置してほしい」



その他
特記事項